

[実函数論分科会]

1. 2014 年度分科会評議員候補者選挙について

2014 年度秋季総合分科会（広島大学，9 月 25 日（木）～9 月 28 日（日））において実函数論分科会選出評議員候補者選挙を以下の「選挙規定」に基づき行います。

(ア) 日本数学会会員で実函数論分科会に登録してある者を選挙権者および非選挙権者とする。

(イ) 候補者は次の者からなる。ただし、同一人物が複数の候補者を推薦することはできない。

1. 分科会委員会が推薦する 2 名（そのうち 1 名は既に 1 年間評議員を務めた者とする）
2. 選挙者 15 名以上の連名により推薦された者

注：これらの候補者は当該年 8 月発行の「数学通信」2 号で選挙管理委員と共に公示する。従って、候補者を推薦しようとする者は候補者を決定し当該年 6 月末までに当該年度評議員まで通知するものとする。通知様式は最後に掲げる。

(ウ) 候補者の任期は 1 年とする。

注 1. 候補者が評議員に選出されれば評議員の任期は 1 年という「日本数学会定款第 22 条」が適用されるという意味である。

注 2. 上の (イ) の 1. で述べた意味で実函数論分科会評議員の任期は実質 2 年となる。2 年目の評議員が連絡責任評議員を務める。

(エ) 投票用紙は 実函数論分科会講演予稿集（アブストラクト）に綴じ込む。投票は分科会開催日の昼休みに行う。不在者投票を希望する者は、該当年 8 月末までに連絡責任評議員（アブストラクト印刷責任者）にその旨申し出るものとする。連絡責任評議員は同年秋の学会前までに不在者投票が完了するように投票用紙を郵送する。返送された票の管理は連絡責任評議員が行う。開票および集計は分科会 2 日目の講演終了後に行ない、結果は直ちに公表し、当該年 11 月発行の「数学通信」3 号にも掲載する。

実函数論分科会評議員候補者推薦状の様式：

実函数論分科会会員である

被推薦者氏名（所属）

を実函数論分科会評議員候補者として推薦するための要件が整ったので、以下に推薦者名簿（要記名捺印）を添えて、申し込みます。

氏名（所属）（印）

（以下同様に記名捺印のこと）

2. 2014 年度の分科会委員会委員は次の通りです。

蚊戸宣幸（島根大総合理工），曾布川拓也（早稲田大グローバルエデュケーションセンター），伊藤昭夫（近畿大工）

3. 今年度開催の研究集会のうち、次をご案内いたします。

(1) 第 53 回 実函数論・函数解析学合同シンポジウム

期日：2014 年 9 月 3 日(水)～9 月 5 日(金)

場所：学習院大学

代表者：中野史彦(学習院大・理)，梶原毅(岡山大・環境生命)，和泉澤正隆(東海大・理)

函数解析学分科会からのお知らせもあわせてご覧下さい。

(2) 実解析学シンポジウム 2014 富山

会場：富山大学

開催責任者：下村哲(広島大・教育)，貞末岳(大阪教育大・教育)，河邊淳(信州大・工)

会場責任者：菊池万里(富山大理)

期日：2014年10月中旬～11月中旬の3日間を予定

4. 年会・総合分科会における一般講演アブストラクトの、ウェブによる数学会会員に限定した公開について

すでに、過半数の分科会で期間も限定し、一般講演アブストラクトのウェブによる数学会会員に限定した公開が行われております。3月18日に学習院大学において開かれた第一回分科会委員会で、実函数論分科会も、同一の限定条件下で一般講演アブストラクトの公開を行うことが議論され、分科会員皆様に提案することになりました。

このことについて、ご意見をお寄せ下さい。2014年度秋期総合分科会・実函数論分科会2日目昼休みに、分科会総会を開いて決定したいと考えております。

なお、第一回分科会委員会議事内容の詳細につきましては、お近くの分科会委員あるいは評議員にお尋ね下さい。

(連絡責任評議員 和泉澤正隆，東海大学理学部)